

工学部 電気電子工学科

■目的・目標

電気電子工学科は、「存在感のあるエンジニア」として活躍できる技術者を育てることを目標に、教育に取り組みます。半導体や電子回路は、工業製品に欠かせない技術です。情報通信技術は、日々進化しています。電気エネルギー関連技術には、環境問題解決への大きな期待が寄せられています。幅広い分野で活躍する技術者を育てます。

■アドミッションポリシー

ユビキタスとは何、太陽電池や電気自動車の切り拓く未来の世界を知りたい。そんな好奇心あふれる人。現代のキーテクノロジー、電気電子技術で社会に貢献したい皆さんを待っています。

■カリキュラムポリシー

電気電子工学科では、産業構造の変化や技術革新に対応できるマルチエンジニアの育成をめざして、カリキュラムを編成します。

1. 電気電子工学の幅広い分野に対応する専門教育とコースの設定。〈エレクトロニクスデザインコース〉〈情報通信ネットワークコース〉〈エネルギー制御コース〉これらの中で、ハードウェアとソフトウェア両面の知識・技術を習得。
2. 充実した実験・研究設備を備えた実験教育により、高度化する電気電子技術に対応できる、基礎と応用技術力を習得。
3. 1年次の「フレッシュマンゼミ」では、少人数のクラス編成により、充実した大学生活を送れるよう、学科のすべての教員が親身に指導。
4. 国際的に活躍できるエンジニアを目指す実践的英語教育（「電気英語」など）。専門分野に直結した実践的数学教育（「電気数学」など）。
5. 3年次秋学期のゼミナールから研究室に所属し、文献輪講やディスカッションを通じて、研究活動の基礎を学び、4年次の卒業研究では、問題解決能力やプレゼンテーション能力を養成。

■ディプロマポリシー

電気電子工学科の扱う工学領域は、エレクトロニクス製品の設計、インターネットをはじめとした情報通信、電気エネルギーの発生や応用など、きわめて幅広い分野に及びます。カリキュラムは、段階を踏んで構成されています。まず、電気電子工学特有の理論体系と思考方法を理解し、実験によって理論を実践に応用する能力と実践から理論を見直していく能力が身につくことが、卒業の第一要件です。また、コース専門科目によって専門分野特有の技術を修得することが求められます。

さらに、「卒業研究」を必修とします。3年次秋学期のゼミナールで、専門の文献読解力と調査能力を養成し、「卒業研究」では特定のテーマについての研究に取り組み、テクニカルコミュニケーション能力、問題解決能力、プレゼンテーション能力などが育まれます。